

防災・減災のススメ

～災害が発生したとき、私たちは～

令和7年5月31日

三次市危機管理監危機管理課

1 災害は
忘れたころにやってくる？



1.2 毎年のように起こるさまざまな自然災害

平成23年	3月11日	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)【震度7、大津波】
平成25年	4月13日	淡路島付近の地震(淡路島地震)【震度6弱】
平成26年	8月	平成26年8月豪雨(土砂災害)
	9月27日	御嶽山噴火
	11月22日	長野県神城断層地震(長野県北部地震)【震度6弱】
平成27年	9月	平成27年9月関東・東北豪雨
平成28年	4月16日	平成28年熊本地震【震度7】
平成29年	7月5～6日	平成29年7月九州北部豪雨
平成30年	6月18日	大阪府北部を震源とする地震(大阪大阪北部地震)【震度6弱】
	6月28日～	平成30年7月豪雨
	9月6日	北海道胆振東部地震【震度7】
令和元年	9月	令和元年房総半島台風(台風15号)
	10月	令和元年東日本台風(台風19号)
令和2年	7月	令和2年7月豪雨
令和3年	2月13日	福島県沖地震【震度6強】
	7月13日	7月1日から3日の東海地方・関東地方南部を中心とした大雨(熱海伊豆山土石流災害)
令和6年	1月1日	令和6年能登半島地震【震度7】



三次に関する災害だけでも…

平成11年	6月	平成11年6月 豪雨	床下浸水43棟、全壊1棟、半壊2棟
平成18年	6月	平成18年7月 豪雨	床上浸水2棟、床下浸水98棟
	9月	台風13号	床上浸水2棟、床下浸水28棟
平成22年	7月	平成22年7月 豪雨	床上浸水3棟、床下浸水39棟、半壊1棟
平成30年	6月28日～	平成30年7月 豪雨	床上浸水311棟、床下浸水167棟、 全壊・流失1棟、半壊3棟
令和2年	7月	令和2年7月 豪雨	床上浸水2棟、床下浸水36棟
令和3年	8月	令和3年8月 豪雨	床上浸水2棟、床下浸水8棟

1.7 その他にも…

三次で起こりうる災害は
大雨 台風 大雪 **土砂災害** 地震 ため池 …

● H26.8月
広島土砂災害



1.3 三次の川事情



- 市の中心部は、江の川、西城川、馬洗川の同規模の3川が合流する地形
- 県内の約1/3の面積に降る雨が集まるため、水位が一気に上昇するという特徴がある。

1.8 広島県の土砂災害危険箇所の状況



広島県の土砂災害のおそれがある箇所は、約48,000箇所（全国最多）

三次市内にも多くの危険箇所

土砂災害の危険区域内に多くの人が居住

2 いざというときに備える ～3つの助け合い～

2 いざというときに備える ～3つの助け合い～

自分(家族)の命は自分(家族)で守る。

地域やコミュニティで
協力して助け合う。

自助

共助

公助

市・消防・警察などの
公的機関による救助・援助

2.1 公助について ～例えば、こんなこと～

事前の備え



災害発生!!!

- ハザードマップの作成・周知
- 資機材等の備蓄
- 内水被害軽減のための排水機場の整備、
仮設ポンプの設置
- 他自治体や民間事業者との災害協定締結
- 情報の収集・伝達
- 避難所等の確保・開設
- 人命救助
- 災害復旧・復興



公助



資機材等の備蓄

資機材等の備蓄

段ボールベッド



トイレテント

上志和地排水機場は、土地改良
総合整備事業(地域改善対策)を
活用し、**農業水利施設**
として整備しました。

1964/05/08(昭39)撮影 空中写真
国土地院 地図・空中写真閲覧サービス



排水ポンプ場長寿命化整備

上志和地 排水機場

所在地	三次市上志和地町301
供用開始	平成3年6月 (工期:昭和61年~平成3年)
排水能力	横軸斜流ポンプ2基 毎秒4.49m ³ No1ポンプ:3.33m ³ , No2ポンプ:1.16m ³



- ✓ 令和3~4年度に各種機器類の
劣化度・損耗度を調査
する機能診断を実施しました。
- ✓ 農業水路等長寿命化・防災減災
事業(農林水産省所管補助事業)
により設備更新等を行います。
- ✓ 今後40年間のコスト比較を行い、
費用対効果の高い手法
で整備を進めるものです。

事業スケジュール

設備等名称	整備内容	R5	R6	R7	R8	R9
No2ポンプ設備	分解整備	●	●			
電気設備 ほか	更新	●	●			
No1ポンプ設備	分解整備			●	●	
除塵設備 ほか	分解整備 ほか				●	●

- ✓ 機能診断の結果、**ポンプ設備と除塵設備は分解整備、電気設備は更新**することとしました。
- ✓ 出水期間中(6月～10月)はポンプ2基の稼働を確保します。
- ✓ 今回の分解整備により、**ポンプ設備は15年、除塵設備は20年の長寿命化**が図られます。

2.2 共助について ～ 例えば、こんなこと ～

事前の備え



災害発生!!!

- 自主防災組織の活動に協力する。
- 地域で防災訓練を行う。
- 防災マップをつくる。
- 近所で声を掛け合って避難する。
- 近所の人の安否を確認する。
- 避難所の運営を手伝う。

地域やコミュニティで
協力して助け合う。

自助

共助

公助

共助



避難所運営訓練

事例 ①

● 令和2年7月豪雨の被災地における事例(熊本県球磨村)

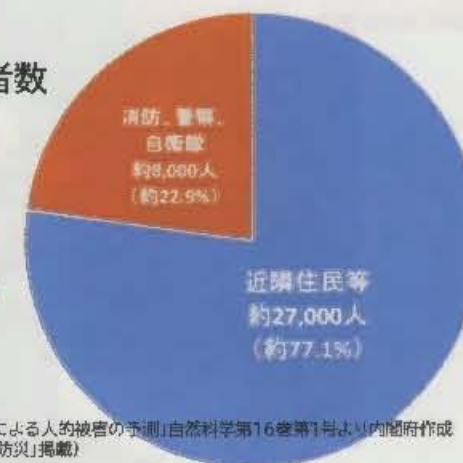
熊本県等に被害をもたらした令和2年7月豪雨では、同県球磨村在住の住民が**自宅外への避難を考えた「きっかけ」**として、雨の降り方などの周囲の状況や避難指示(緊急)の発令などの避難情報・防災気象情報とともに、**家族・友人・知人や町内会・近所の人による避難の呼びかけと回答した住民が少なくない**割合でいたという調査結果もあり、避難の判断にあたっては「公助」とともに「自助」「共助」が重要であるといえる。

【出典】内閣府HP
熊本県球磨村、CeMI環境・防災研究所(令和3年5月)「球磨村住民アンケート 集計・分析結果」より内閣府作成

事例 ②

● 阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数

家族も含む「自助」や近隣住民等の「共助」により生き埋めになった人の約8割が救出されており、「公助」である救助隊等による救出は約2割程度に過ぎなかったという調査結果がある。



【出典】内閣府HP
河田恵昭(平成9年)「大規模地震災害による人的被害の予測」自然科学第16巻第1号より内閣府作成
(平成28年版防災白書 特集「未来の防災」掲載)

2.3 自助について ～ 例えば、こんなこと ～

事前の備え



災害発生!!!

- ハザードマップを確認する。
- 防災メールを登録する。
- 気象情報を収集する。
- 家具などの転倒を防止する。
- 避難先・避難方法を確認する。
- 側溝を掃除する、土のうを準備する。
- 非常時持ち出し袋を準備する。
- 家族との連絡方法・安否確認の方法を決めておく。
- 自らの判断で早めに避難する。

自分(家族)の命は自分(家族)で守る。



2 いざというときに備える ～3つの助け合い～

自助

共助

公助

大規模な災害が発生したときほど、「地域の防災力」が重要です！

自助×共助×公助＝防災力

3 災害からいのちを守るために

考える
(知る)

×

気づく
(察知する)

×

行動する

=自然災害リスクとそれに
応じた、避難行動、避難先を知る

=避難のタイミングとその
きっかけとなる情報を知る

=避難しよう意識する、
主体的に行動できる

「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、
自らの判断で主体的な避難行動をとることが必要です。

3 災害から いのちを守るために

3.1 災害リスクを知る

自助

三枚市防災ハザードマップ

必ずお持ちください

※確認された災害発生を避けてください



知りたい情報を選ぶ

想定最大規模:「1/1000年」確率以上の降雨規模
降雨量=479mm/48時間

計画規模:「1/100年」確率の降雨規模
降雨量=306mm/48時間



過去の災害の浸水範囲とハザードマップ



令和30年7月豪雨災害
(岡山県倉敷市真備町)

洪水浸水想定区域と実際の浸水範囲がほぼ一致にもかかわらず、51名が死亡。
特に死者の約8割が70歳以上。

【出典】国土交通省
「平成30年7月豪雨災害の概要と被害の検証」

自助

3.1 気象情報を知る

注意報 … 大雨、洪水、強風、雷、乾燥、風雪、濃霧、低温、なだれ

警報 … 大雨(土砂災害、浸水害)、洪水、暴風、暴風雪、大雪

特別警報 … 大雨(土砂災害、浸水害)、暴風、暴風雪、大雪

記録的短時間大雨情報・土砂災害警戒情報

1. マークではなくコメントで判断する。
2. 最新の情報をチェックする。
3. 携帯やパソコンでも、情報が収集できる。

気象庁 など	
警戒レベル 相当情報	防災気象情報(警報など)
5 相当	●大雨特別警報・氾濫発生情報 ●キキクル(危険度分布)「災害切迫」(黒)
4 相当	●土砂災害警戒情報・氾濫危険情報 ●キキクル(危険度分布)「危険」(紫) ●高潮特別警報・高潮警報
3 相当	●大雨警報(土砂災害) ●洪水警報・氾濫警戒情報 ●キキクル(危険度分布)「警戒」(赤) ●高潮注意報(警報に切り替える可能性が高いもの)

2.4 災害リスクに応じた避難行動・避難先を知る

警戒レベル3・4

立退き避難

安全な場所
 ・避難所へ移動(小中学校、コミュニティセンターなど)
 ・安全な自主避難先(親戚、知人宅など)



警戒レベル5

屋内安全確保

安全な自宅・施設等
 ・安全な上階へ移動
 ・安全な上層階に密着



緊急安全確保

安全とは限らない自宅・施設等近隣の建物
 (適切な建物が近隣にあるとは限らない)
 ・上階へ移動
 ・上層階に密着
 ・座から離れた部屋に移動
 ・近隣のより堅牢な建物に移動



自宅や自身の状況をふまえて、どのような避難行動をとるか決めておく。

避難先は避難所だけではありません！

- ✓ **災害が起こる前に避難先を確認**しておきましょう。
- ✓ **安全な場所にお住いの親戚や知人等のお宅**などへ避難し、安全を確保することも考えられます。
- ✓ **安全な場所にあるホテルや旅館、車で避難する高台も、立退き避難の「安全な自主避難先」となります。**

避難所について

● 警戒レベル3「高齢者等避難」

基幹避難所(19か所)を開設(市職員) **川地小学校**

● 警戒レベル4「避難指示」

必要に応じて、補助避難所(55か所)、広域避難所、浸水時緊急退避施設を追加開設(市職員、自主防災組織)

川地コミュニティセンター
旧志和地小学校



2.3 避難の手がかり = 避難情報 に気づく

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	市町が発令する避難情報	市町が参考とする防災気象情報
5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	大雨特別警報 等
<警戒レベル4までに必ず避難！>				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 等
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	-	大雨注意報 洪水注意報 等
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	-	早期注意情報

警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	市町が発令する 避難情報	市町が参考とする 防災気象情報
-----------	----	-----------	-----------------	--------------------

3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 等
---	--------------	----------------	--------	----------------

【警戒レベル3】

高齢者等避難

警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	市町が発令する 避難情報	市町が参考とする 防災気象情報
-----------	----	-----------	-----------------	--------------------

3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 等
---	--------------	----------------	--------	----------------

【とるべき行動】

危険な場所から 高齢者等は避難

警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	市町が発令する 避難情報	市町が参考とする 防災気象情報
-----------	----	-----------	-----------------	--------------------

<警戒レベル4までに必ず避難！>				
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等

【警戒レベル4】

避難指示

警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	市町が発令する 避難情報	市町が参考とする 防災気象情報
-----------	----	-----------	-----------------	--------------------

<警戒レベル4までに必ず避難！>				
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等

【とるべき行動】

危険な場所から 全員避難

命を守る情報を、確実に受け取る

三次市ではさまざまな媒体で、避難情報や緊急地震速報、市政情報などを発信しています。もしものときに慌てないよう、事前に登録しておきましょう。



防災一斉メール



三次市公式LINE



Yahoo!
防災情報



音声告知放送



いのちを守るために「早めの避難」を！

- ✓ 自分自身
- ✓ 家族
- ✓ 近所の方
- ✓ 消防団員
- ✓ 消防署員



2.4 ちゅうちょせずに 逃げる！

- ✓ 「平成30年7月豪雨」による「洪水」「河川犠牲者」は、**6割が浸水想定区域付近**で発生。
- ✓ 「災害危険箇所・エリアの外」への避難が基本です。
- ✓ 危険が差し迫ってからの移動は避けましょう。**「早めの避難」が何より大切**です。

【出典】自然災害科学>>J-SNDS 38-1(2019)

牛山素行・木間基寛・横幕早季・杉村晃「平成30年7月豪雨による人的被害の特徴」より一部抜粋

参 考 情 報

大雨の発生回数は増加しています！

1時間降水量80mm以上、
3時間降水量150mm以上、
日降水量300mm以上など
強度の強い雨は、1980年
頃と比較して、おおむね
2倍程度に頻度が増加
しています。



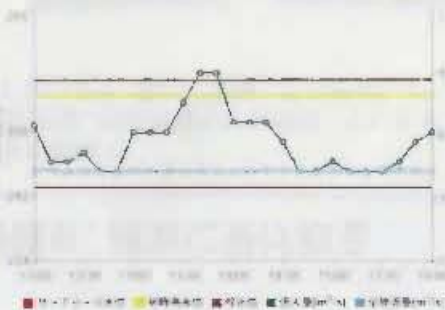
	予報用語	1時間雨量	人の受けるイメージ	屋外の様子	災害発生状況
やや強い雨		10mm以上 ～20mm未満	● ゴーゴーと降る	● 地面一面に水たまりができる	● この程度の雨でも長く続くと きは注意
強い雨		20mm以上 ～30mm未満	● どしゃ降り		● 側溝や水、小さな川があふれ 小規模のがけ崩れが始まる
激しい雨		30mm以上 ～50mm未満	● バケツをひっくり返したように降る	● 道路が川のようになる	● 山崩れ・がけ崩れがおきやすくなり 危険地帯では避難の準備が必要 ● 下水管から雨水があふれる
非常に激しい雨		50mm以上 ～80mm未満	● 滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	● 水しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる	● マンホールから水が噴出する 場合がある ● 土石流がおこりやすくなる
猛烈な雨		80mm以上	● 息苦しくなるような圧迫感がある ● 恐怖を感じる		● 雨による大規模な災害の発生 するおそれ強く、最悪な警戒が必要

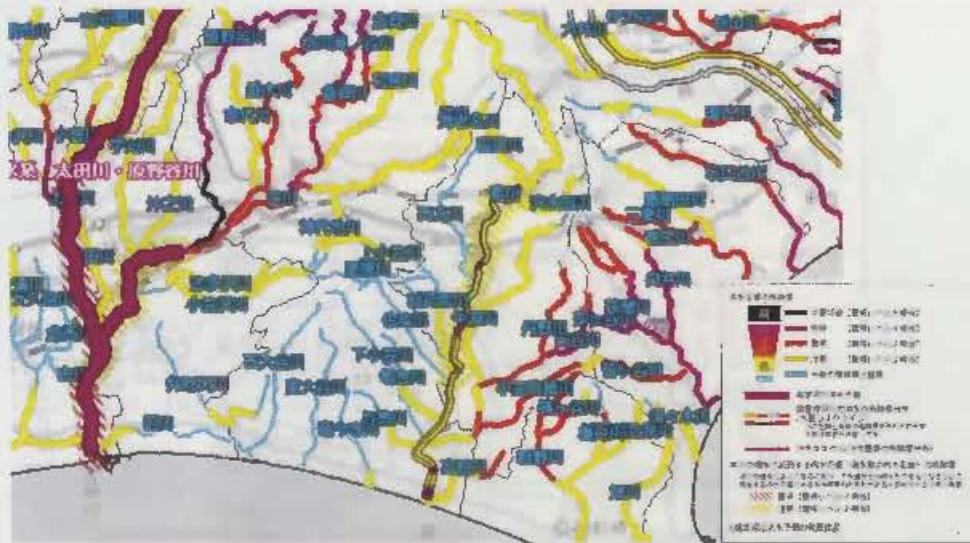
土師ダム

時間: 10分

観測日時: 10分間隔

観測日時: 10分間隔 15分間隔 30分間隔 1時間間隔 1日単位 1週間単位 1ヶ月単位





5日先までの早期注意情報(警報級の可能性)

〇〇県南部の早期注意情報(警報級の可能性)

南部では、4日までの期間内に、暴風、波浪、高潮警報を発表する可能性が高い。
また、4日明け方までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。

早期注意情報

翌日まで
・天気予報と合わせて発表
・時間帯を区切って表示

2日先～5日先まで
・週間天気予報と合わせて発表
・日単位で表示

〇〇県南部	3日	4日				5日	6日	7日	8日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24				
大雨	[中]					-	-	[中]	-
暴風	-					-	[中]		-
波浪	-					-	[中]		-
高潮	-					-	[中]		-

[高] 警報を発出中、又は、警報を発出するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が[高]とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。

[中]、[高]ほど可能性は高くなりますが、前に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性が[中]とされているときは、暴風などの警報発表も想定して心構えを高めてください。

※警戒レベルとの関係

早期注意情報(警報級の可能性)・・・[警戒レベル1]

・大雨、高潮に別して、[高]又は[中]が予想されている場合。

5日先までの早期注意情報(警報級の可能性)

〇〇県南部の早期注意情報(警報級の可能性)

南部では、4日までの期間内に、暴風、波浪、高潮警報を発表する可能性が高い。
また、4日明け方までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。

翌日まで
・天気予報と合わせて発表
・時間帯を区切って表示

2日先～5日先まで
・週間天気予報と合わせて発表
・日単位で表示

〇〇県南部	3日	4日				5日	6日	7日	8日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24				
大雨	[中]					-	-	[中]	-
暴風	-					-	[中]		-
波浪	-					-	[中]		-
高潮	-					-	[中]		-

翌日まで
前日の夕方以降で、必ずしも可能性は高くないものの、夜間～翌日早朝までの間に警報級の大雨となる可能性もあることが分かる！

2日先～5日先まで
数日先の荒天について可能性を把握することができる！

ちゅうちょせずに 逃げる！

- ✓ 暗くなると足元が見えず、危険です。
明るいうちに避難しましょう！
- ✓ 水害時には次第に状況が悪化します。避難情報が発令されたら(または危険を感じたら) **ためらわずに避難すること**が**重要**です。
- ✓ **避難するまでの準備は日頃**から済ませておく、いざという時にすぐに避難を開始できます。

4 地域防災タイムラインを つくってみましょう！

ご自身の避難について考えてみましょう！

日頃からの備え

自宅の災害リスク （シナードマップ上で自宅周辺に色が塗られて
いる場合は、ここで「チェック」してください。）


土砂災害


洪水


ため池決壊

まずはこれ！ 防災グッズチェックリスト

☐ 飲料水（1人1日3リットル） ☐ 食糧（人数×3日） ☐ FM（AM）ラジオ ☐ 携帯ラジオ	☐ 防寒具（冬3）（大暑） ☐ ガムテープ、軍手（人数分） ☐ 簡易トイレ ☐ ホイッスル ☐ 救急セット
---	--

※ その他グッズ一覧は、このQRコードを参照

地域防災タイムライン (サンプル) 〇〇自主防災会

この地域では、大雨が降った際に、


土砂災害が懸念


洪水


ため池決壊

が発生する危険があります。

災害が起こる可能性が高い時には、
**ご近所で声を掛けあって
早め早めに避難する
必要があります。**

〇〇自主防災会 避難のしるしに、家族やご近所と声掛けあって避難




氏名、住所、電話番号、避難場所、避難経路

～避難訓練などの際にこの活用紙を活用してください～

避難する際の戸掛け方

氏 名	避難方法
氏 名	避難方法

情報収集ツール

気象情報 ☐

避難情報の収集 ☐

テレビ・ラジオ ☐

防災メール ☐

防災アプリ ☐

避難のタイミング

避難に支援が必要な人 ☐

避難に支援が必要な人 ☐

避難に支援が必要な人 ☐

避難に支援が必要な人 ☐

避難する場所

避難場所はつぎの上で検討して下さい。

安全な場所にある。道路、河川や水路は必ず避難所になります。

〇〇と

〇〇と

ご自身の避難について考えてみましょう！

日頃からの備え

自宅の災害リスク ハザードマップで家族が避難しやすくなる場所を確認し、日頃から確認し、口に出して伝えてください。

地震被害

洪水

土砂災害

まずはこれ！ 防災グッズチェックリスト

☒ 飲料水(1人1日3リットル×3日)	☒ 防寒具(7℃以下用)
☒ 食料(1人3日分)	☒ リムテープ・選手(人数分)
☒ IR「EM」サーバー	☒ 靴・スリッパ
☒ 携帯ラジオ	☒ 携帯トイレ
	☒ ホイッスル
	☒ 緊急セット

※ その他グッズ一覧は、右のQRコードを参照

地域防災タイムライン
(サンプル) 〇〇自主防災会

この地域では、大雨が降った際に、

土砂災害が激しい

洪水

ため池決壊

が発生する危険があります。

**災害が起こる可能性が高い時には、
ご近所で声を掛けあって
早め早めに避難する
必要があります。**

情報収集ツール

災害情報 ☒ テレビ・ラジオ ☒ 防災行政無線

避難情報の収集 ☒ 防災メール ☒ 防災アプリ

避難のタイミング

避難に支援が必要の人 ☒ いる **警戒レベル3 高齢者等避難で避難**

☐ いない **警戒レベル4 避難指示で避難**

避難する場所

・避難先は2つ以上確保しておく必要があります。
・安全な場所にある。道路、建物や水がけの近くなど避難先になりません。

〇〇小学校 と 〇〇さんの家

避難する際の声掛け先 ※ 電話・FAXは24時間

氏 名	連絡方法
氏 名	連絡方法

ご自身の避難について考えてみましょう！

日頃からの備え

自宅の災害リスク



土砂崩れ・倒壊



浸水



火の被害

まずはこれ！ 防災グッズチェックリスト

☒ 飲料水(1人1日3リットル×3日)	☒ 乾菜類・缶詰・パン・缶詰
☒ 食料(人数×3日)	☒ ガムテープ・軍手(人数分)
☒ 懐中電灯	☒ 簡易トイレ
☒ 携帯ラジオ	☒ ホットセル

※ その他グッズ一覧は、右のQRコードを参照



情報収集ツール

☒ 気象情報	☒ テレビ・ラジオ	☒ 防災行政無線
☒ 避難情報の収集	☒ 防災メール	☒ 防災アプリ

避難のタイミング

避難に去援が必要か

☒ いる 警戒レベル3 高齢者等避難へ避難

☐ いない 警戒レベル4 避難指示で避難

避難する場所

避難先を3つ以上確認し、おきましょう。

1. 水や電気の断絶による、避難・知人宅での待機先になります。

〇〇小学校

と

〇〇さんの家

地域防災タイムライン

(サンプル) 〇〇自主防災会

この地域では、大規模な地震に、



土砂崩れ・倒壊



洪水



火災被害

が発生する危険があります。

災害が起こる可能性が高い時には、
ご近所で声を掛けあって
早め早めに避難する
必要があります。

避難する前に

避難するときに

避難した後に



※ 避難するときは、この順番で行動してください。

避難訓練などの際に、この冊子を活用してください。

避難する際の声掛け先

氏名	向かいのおじさん	連絡方法	訪問
住所	隣町のおばあさん	連絡方法	電話

非常持ち出し袋の準備

- ✓ 現金、預金通帳、印鑑
- ✓ 緊急連絡先やかかりつけ医療機関がわかるもの
- ✓ 保険証やおくすり手帳
- ✓ 眼鏡やコンタクトレンズ、補聴器
- ✓ 杖や歩行器
- ✓ 紙おむつや特別食
- ✓ いつも使っているもの、あると落ち着くもの



など、自分だけの非常持ち出し袋を準備しましょう。

「避難に必要な情報」をまとめた個別避難計画

災害時に一人では避難することが困難な方(避難行動要支援者)が、いつ・どこに避難するか、誰が支援するか、避難するときにどのような配慮が必要かなどをあらかじめ記載した避難計画。避難行動要支援者ごとに作成する。

個別避難計画

- ☑ 自分の家は安全な場所にある？
- ☑ いつ避難する？
- ☑ どこに避難する？
- ☑ 誰と一緒に逃げる？
- ☑ 何をもって逃げる？
- ☑ 避難後にどんな配慮が必要？



避難行動要支援者の存在

災害時に自らの力で避難することが困難な方のことを「**避難行動要支援者**」という



命を守るために、誰かが支援する必要がある

自力で避難することは難しいけれど、ほんの少しの手助けで避難できる方も多くいらっしゃいます。

「ほんの少しの手助け」が必要な方の避難をみなさんで一緒に考えてみてください。

荷物を持って玄関まで出ることはできます



では、早めに声がけするので、一緒に避難しましょう！

支援が必要になった時に、「お願いしやすい地域」にしていきましょう！

- 災害は「まさか」ではなく、
「いつでも」起こる！
- 「自分は大丈夫」とは思わない！
- **最悪**の事態を想定して…
命を守る行動を!!

ご清聴ありがとうございました。